

平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業 最終評価表

実施団体	一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会	協働部署	教育委員会指導課、生涯学習課	記入日	令和 2 年 3 月 12 日
------	---------------------	------	----------------	-----	-----------------

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況と今後の対応	ESD・市民協働推進センターから
ニーズ調査事業の実施	<p><アンケート調査>市教委 3650 枚、団体 10429 枚、計 14079 枚配布。配布先は自主夜間中学通学者や市保有施設・店舗等。6 月 8 日～8 月 31 日まで実施。回答数 810(5.8%回収)。</p> <p><ヒアリング調査>7 月 13 日～10 月 31 日まで実施。アンケート回答者のうち合意を得られた 51 名にヒアリング調査を行った。</p> <p><報告書> アンケート調査結果、ヒアリング調査結果について団体と協働部署で協議を重ね報告書を作成し、令和 2 年 1 月 30 日に公表した。「本調査を通じて、夜間中学を求めるニーズが確かにあるということが鮮明になりました。(中略) 今後も学び直しのニーズについては継続して把握する必要があると考えます。今回の調査で明らかになった夜間中学での学び直しの場合を求める声に対して、どのような体制の構築が、本市における学びの場の充実につながるものであるのかについて、具体的な方法を検討するために、本報告書が基礎資料となることを期待します。」として本調査を終了した。 印刷部数 1000。</p>	<p>【相互理解の原則】 団体、協働部署それぞれの方針を適宜確認しながら事業を進めた。協働する上で、互いの役割が異なることを理解していた。</p> <p>【目的共有の原則】 調査目的の確認を繰り返し行いながら報告書をまとめた。調査後の岡山市の方針について、団体の理想とする状況と岡山市の現在の見解に差はあるが、ニーズ調査が今後の方策を検討する基礎資料であるという認識は一致している。</p> <p>【対等の原則】</p>
スキルアップ事業の実施	<p><教職員研修・公開授業への参加> 協働部署から情報提供し、団体が公開授業へ参加した。</p> <p><ノウハウ蓄積と研修モデルづくり> 「導きチームづくり研修」「外国語としての日本語指導 指導者養成研修」「発達障害の生徒への対応に関する研修」「奈良市立春日中学校 夜間学級への合流参加による研修」を実施した。</p>	<p>役割分担は明確であり、団体・協働部署それぞれが役割を果たすことに努めた。岡山市の現在の方針と団体の目指す状況に差がある部分もあり、対等な関係を継続することへの意識は重要な観点となった。</p>
自主夜間中学校視察	<p>事業開始当初、指導課・生涯学習課とも岡山自主夜間中学校を訪問した。また、ヒアリング調査開始にあたり指導課・生涯学習課が訪問し、岡山自主夜間中学校の様子を把握した。</p>	<p>【自主性及び自立性尊重の原則】 互いの意思を尊重しながら時間をかけて話し合いを続け、事業に取り組んだ。</p>
公立夜間中学校に関する状況	<p>文科省が各都道府県に少なくとも 1 校の設置を促進、岡山県による令和元年度の調査実施など、状況が随時変化している。</p> <p>岡山市では令和 2 年度より適応指導教室 2 カ所を利用した夜間教室を実施予定。この事業でさらに深く学び直しのニーズを把握することとしている。</p>	<p>【公開の原則】 必要な情報を随時、団体と協働部署の間で確認し合いながら事業を進めた。</p>